

健康な過体重成人における減量法の影響：プラセボ対照・二重盲検臨床試験

Kalman, DS *et al.* *Cur Ther Res* 2000; 61: 199-205.

目的：本研究はエフェドリンおよびシネフリンからなる化合物が、健康な過体重成人の体重、体組成、代謝変数、気分に及ぼす影響を明らかにするために実施された。

方法：体型指数が 27 kg/m^2 以上の被験者30名を、無作為に実験群とプラセボ群に分けた。実験群にはエフェドリンアルカロイド20 mg、シネフリン5 mg、カフェイン200 mg、サリシン15 mgを含むカプセルを1日に2回、8週間投与し、プラセボ群には適切なプラセボを投与した。管理栄養士がすべての被験者に、22 kcal/kgの全米コレステロール教育プログラムの食事療法を指導した。加えてすべての被験者は、運動生理学者の指導の下で複数の運動を組み合わせた運動プログラムを1週間に3日間実施した。被験者は年齢別予測最高心拍数の $\sim 70\%$ で運動を行った。

結果：実験群はプラセボ群よりも体重減少が有意に大きかった (3.14 kg vs. 2.05 kg、 $P < 0.05$)。実験群は体脂肪が16 %減少したのに対して、プラセボ群は1 %増加した。群間の差は有意だった($P = 0.005$)。両群とも除脂肪体重は減少したが、減少はプラセボ群が実験群より大きかった。このことは実験群で筋肉が温存されたこと示唆している。血圧、連続心電図、脈拍、血液生化学検査、カロリー摂取量に有意な変化は認められなかった。

結論：これらの結果は、エフェドリンおよびシネフリンからなる化合物が、本実験条件下において明らかに安全であり有効であることを示している。(2018年6月5日 博士前期課程1年 北口瑞生)